

明日へのアグリロード 2022

思いを形に、あなたのチャレンジ支えます。
応援します。農業普及



「今朝の降霜の影響は??」
美里農業改良普及センター



「おらほで喰う米」
大河原農業改良普及センター



「今年のねぎの出来は」
大崎農業改良普及センター



「なすの整枝剪定を解説」
大崎農業改良普及センター



「今年も笑顔のようなひまわりが咲きました」
巨理農業改良普及センター



「収穫の日をマツ」
石巻農業改良普及センター

令和5年5月

宮城県農政部農業振興課

■ 表紙・裏表紙 写 真 ■

農業改良普及センターでは、日ごろの現場での普及指導員の活動や農業者の動き等の写真を収集し、関係機関や一般県民の皆様に対する普及活動のPRに活用しています。

【表紙写真左上】『今朝の降霜の影響は??』

(撮 影 者) 美里農業改良普及センター 佐藤 啓一
(作品の説明) 降霜の影響を栽培農家とともに確認する曾根普及指導員

【表紙写真右上】『おらほで喰う米』

(撮 影 者) 大河原農業改良普及センター 竹林 凌
(作品の説明) 宮城と山形県境の中山間地で、農業者が自家用米に、はぜ掛けしている秋の1コマ。

【表紙写真左下】『今年のねぎの出来は』

(撮 影 者) 大崎農業改良普及センター 菊池 光洋
(作品の説明) 施肥回数や品種の違いでこんなにも生育差が！農家さんの狙い通りのタイミングで出荷ができそうです。

【表紙写真中下】『なすの整枝剪定を解説』

(撮 影 者) 大崎農業改良普及センター 永田 悦祈
(作品の説明) なすは生育バランスを見ながら株の形を整えていくことで、コンスタントな収穫が可能になります。

【表紙写真中】『今年も笑顔のようなひまわりが咲きました』

(撮 影 者) 亘理農業改良普及センター 佐藤 浩子
(作品の説明) 東日本大震災で被災した農地の地力増進のための緑肥として開始されたひまわり栽培。今年は、5.5haの農地で約200万本のひまわりが栽培され、「第5回やまもとひまわり祭り」が開催されました。

【表紙写真右下】『収穫の日をマツ』

(撮 影 者) 石巻農業改良普及センター 玉手 英行
(作品の説明) 新品目として期待が寄せられているクロマツ。数年後の収穫が待ち遠しく感じられます。



普及活動標語

思いを形に、あなたのチャレンジ支えます。応援します。農業普及

ロゴマーク説明

宮城県の農業改良普及事業が農業発展の架け橋となることを願うとともに、
アグリカルチャーの頭文字『A』をイメージしています。

明日へのアグリロード 2022

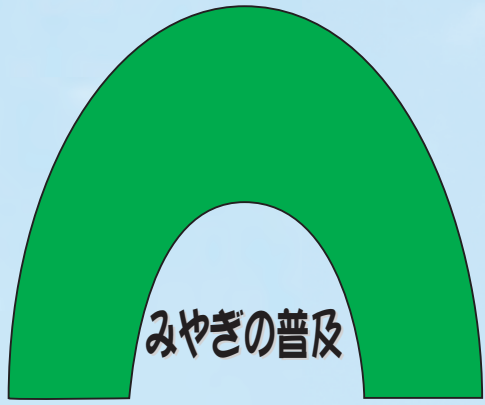
令和5年5月発行

編集発行

宮城県農政部農業振興課

電話 022(211)2837

E-mail nosin@pref.miyagi.lg.jp



思いを形に、あなたのチャレンジ支えます。
応援します。農業普及

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



この印刷物は1,200部作成し、1部当たりの印刷単価は330円です。